

1 柏市の「いじめ」の状況

資料 1

平成26年度「1学期いじめの状況調査」より

※()内は25年度1学期の数値

(1) 「いじめ」の認知件数

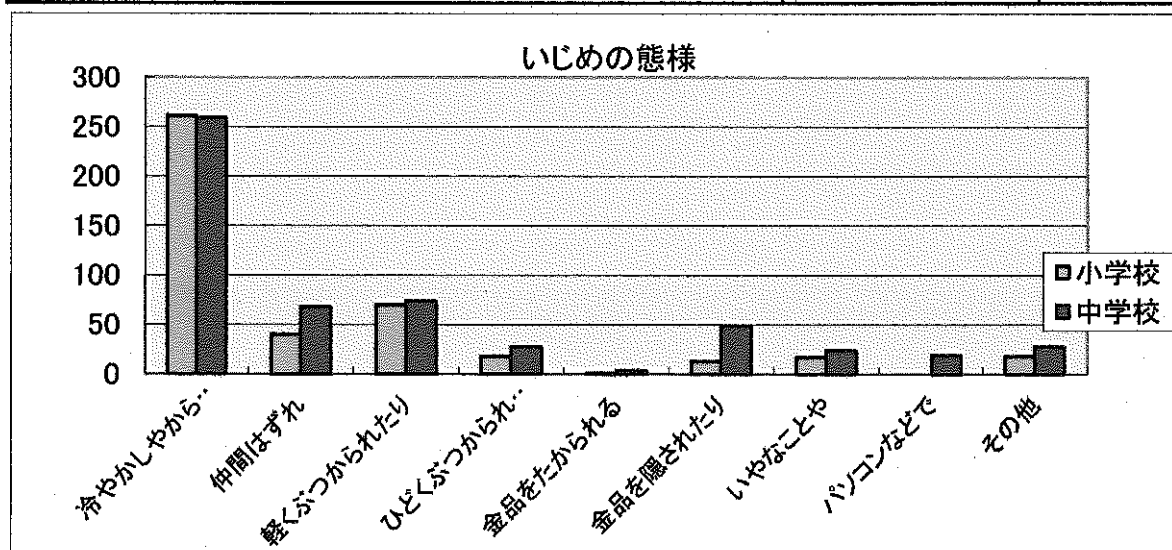
	認知した学校数	認知した件数	解消している件数	
小学校	28 (33)	374 (252)	343	(211)
中学校	19 (20)	344 (357)	255	(259)
計	47 (53)	718 (609)	598	(470)

(2) 認知したいじめのうち、児童生徒の生命又は身体の安全が脅かされるような重大な事態に至るおそれがあると考える件数

小学校	0 (0)
中学校	0 (0)
計	0 (0)

(3) いじめの態様

区 分	小学校 件数	中学校 件数
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる。	261 (150)	259 (206)
仲間はずれ、集団による無視をされる。	40 (45)	68 (50)
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	70 (58)	74 (57)
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	18 (6)	28 (31)
金品をたかられる。	1 (0)	4 (4)
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	13 (11)	49 (20)
いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	17 (10)	32 (24)
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	0 (0)	19 (26)
その他	18 (7)	28 (57)
計	438 (287)	561 (475)



平成26年度 1学期いじめの状況調査

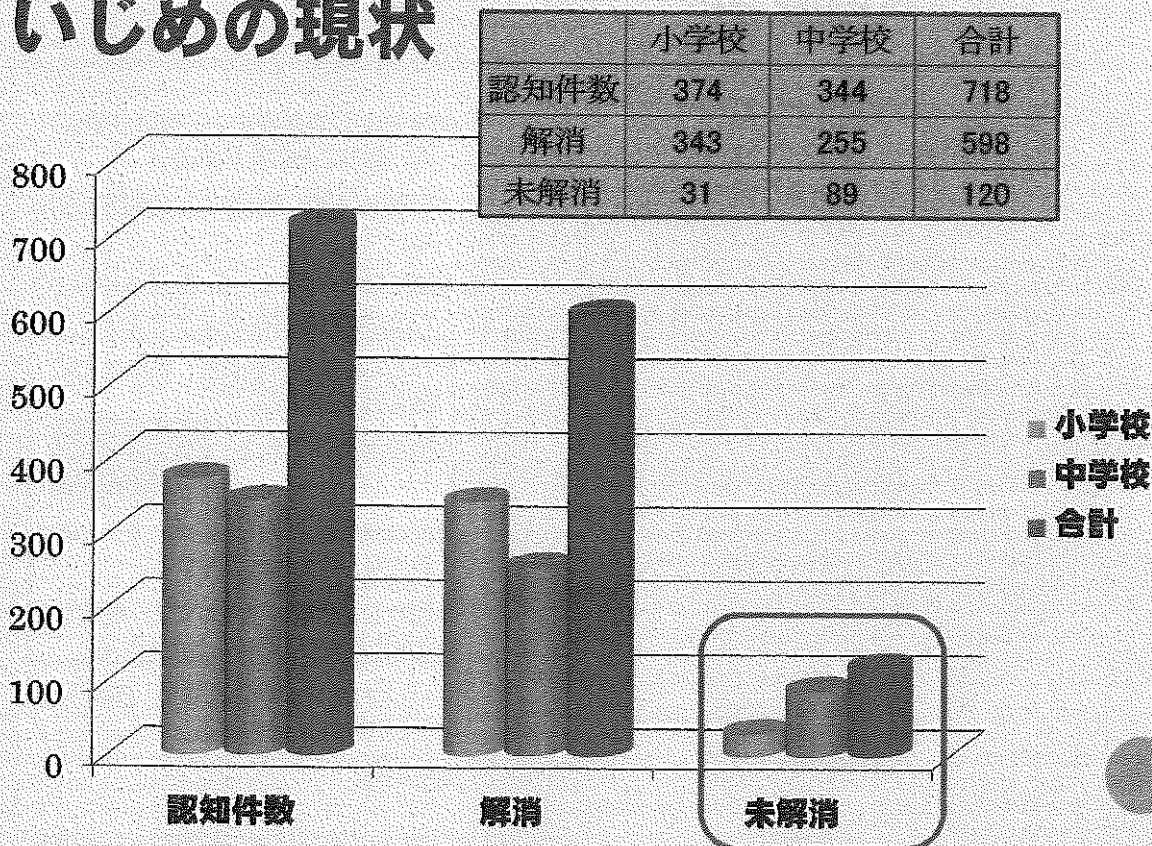
調査対象

平成26年度

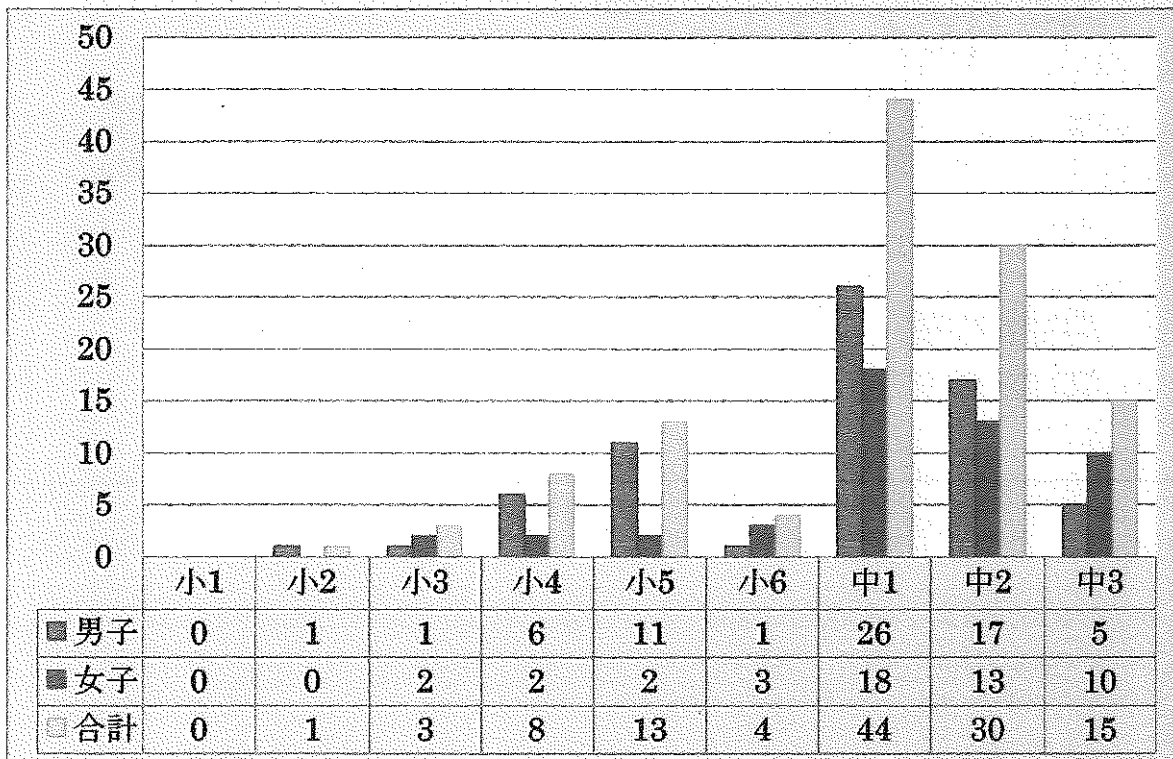
柏市内小学校 42校：21,415人

柏市内中学校 20校：10,023人

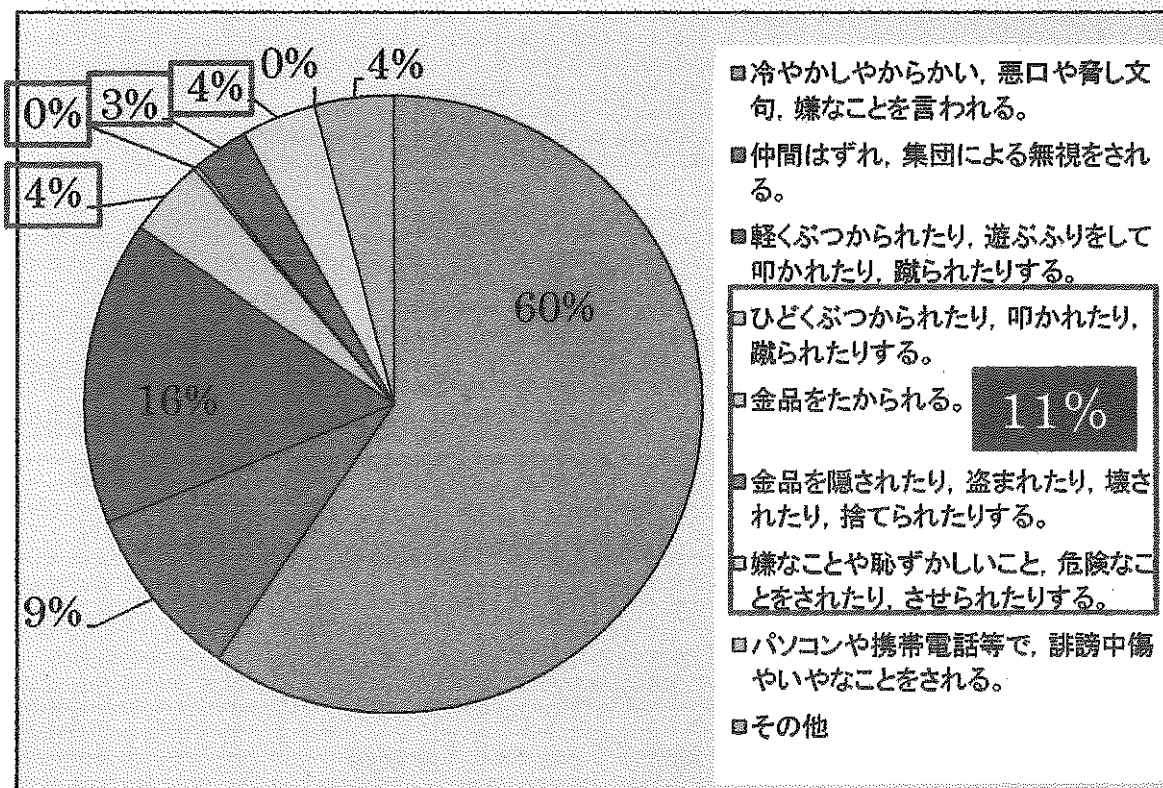
いじめの現状



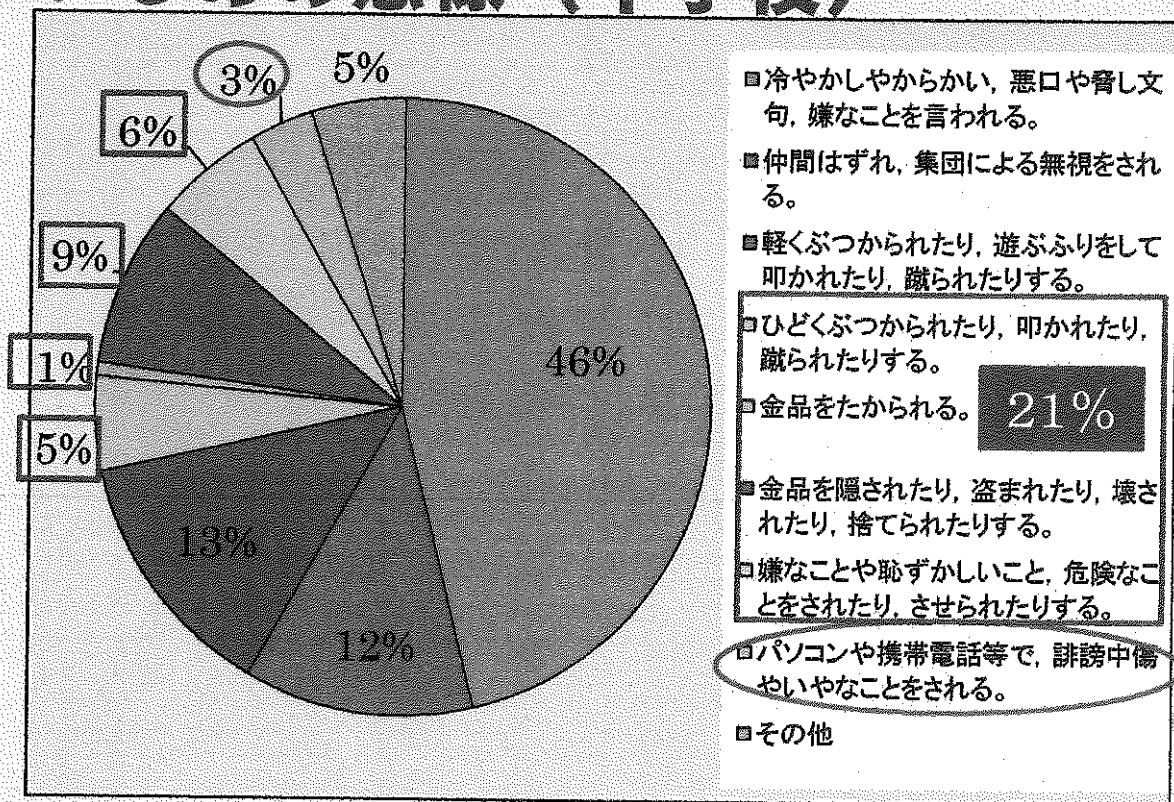
いじめ学年別未解消件数（小中）



いじめの態様（小学校）



いじめの態様（中学校）



生徒指導アドバイザーによる学校訪問

⇒すべての未解消案件について聞き取りを実施

※緊急に対応を要する重大事態はない

※コミュニケーション能力の低下や発達障害に起因するトラブルの増加が特徴

⇒人間関係づくり(ソーシャルスキルトレーニング)の必要性

※ネットトラブルの増加が懸念される

※保護者同士のトラブルに発展したり、保護者から協力が得られないケースが増加している